

『エコタウンやまのうち』雪利用へのチャレンジ!

～雪氷熱利用のススメ～

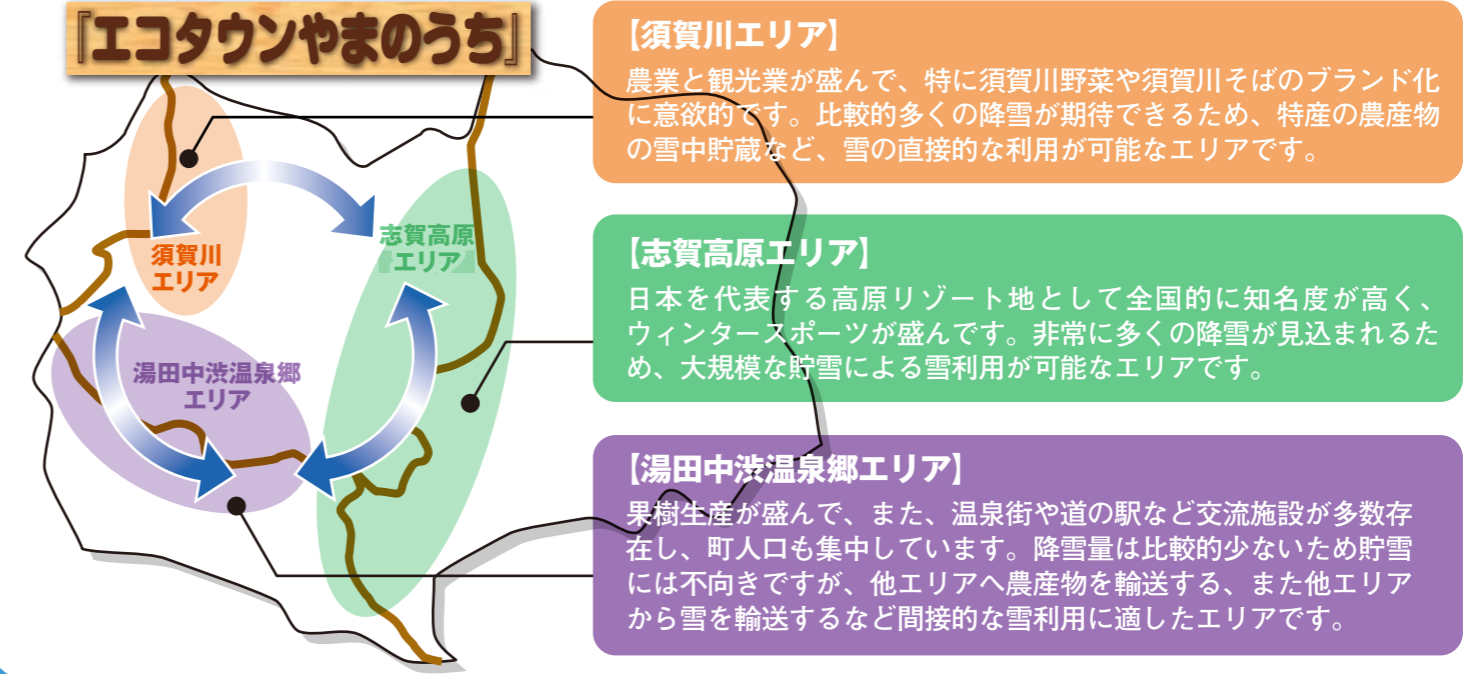
◎古くて新しい雪氷熱の利用

雪氷熱とは雪や氷から得られる冷熱のことですが、山ノ内町では主に「雪」の冷熱を利用することが考えられます。雪冷熱を天然の冷熱資源として捉えることで、農産物の冷蔵庫や建物の冷房用のエネルギーとして活用できるだけでなく、農産物等の商品に新たな付加価値をつけたり、新たな産業を創出したり、観光イベントにも活用したりすることができます。

雪国では古くから「雪室」という天然の冷蔵庫が利用されており、現在はこれを応用した雪による低温貯蔵・低温熟成・冷風乾燥など新たな技術も開発されています。雪氷熱の利用は「古くて新しい雪国の知恵」なのです。

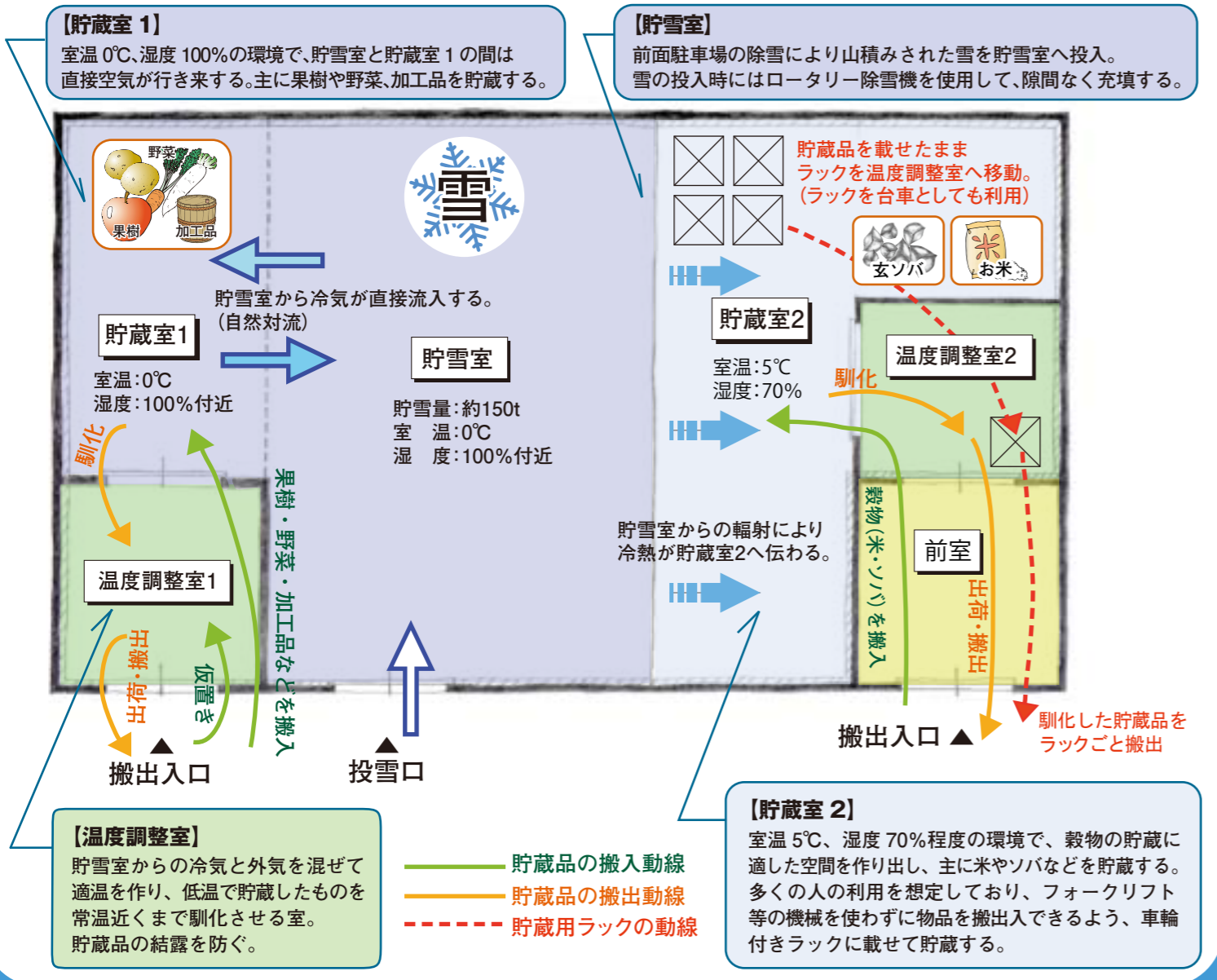
◎雪利用を核に3つのエリアが相互連携

地域の産業や気候条件などから、町内を3つのエリアに大別し、各々のエリアに適した雪利用を推進していきます。また、エリア同士の相互連携を図りながら「エコタウンやまのうち」としての雪利用にチャレンジしていきます。



◎山ノ内町 雪氷熱利用パイロットモデルプラン

町の気候的・地理的条件、需要創出の可否性、地域性などを総合的に考慮し、「須賀川エリア」において「雪氷熱を利用した農産物の貯蔵施設」を整備することを、町のパイロットモデル事業に選定しました。今後さらに詳細な検討を進めていきます。



◎「雪山方式による貯雪実験」はじめました♪

～ 夏に雪を活用して “やまのうち” の新たな魅力を発信します ～

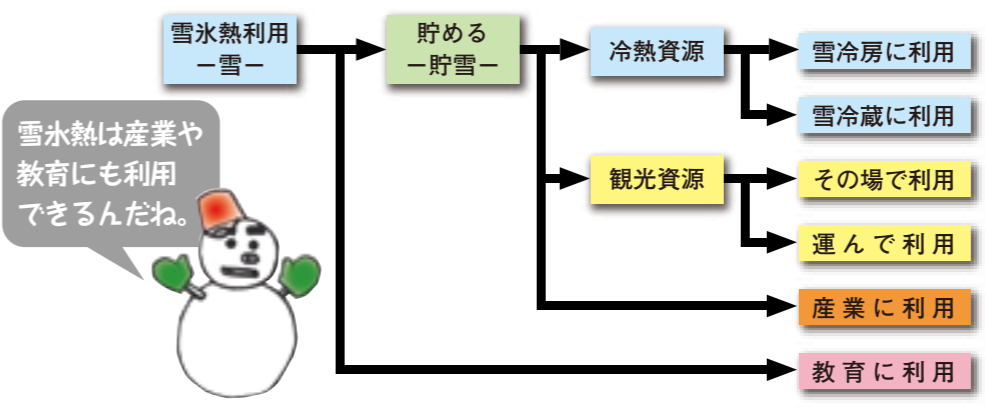
平成24年3月に、よませ活性化センター駐車場におよそ500トンの雪を積み上げて雪山を作りました。特殊なシートをかけて夏まで貯雪し、6月～8月に行われる町内のイベントなどで使用する予定です。



“こんなふうに雪を使っては？”というご提案や、“雪を使ってみたい！”というご要望がありましたらお寄せください。

◎雪氷熱利用の基本コンセプト

雪氷熱利用は北海道や新潟県など全国の積雪寒冷地帯において取組みが進んでいますが、これらの先進事例や町の地域特性などを踏まえ、“山ノ内町に適した雪氷熱の具体的な利用方法”として6つの基本コンセプトを導き出しました。



- 基本コンセプト**
- ① 新たな居住環境の整備
雪冷房住宅、...
 - ② 新たな農業の展開
農産物の低温貯蔵・低温熟成、...
 - ③ 大規模雪イベントの実施
夏の高原リゾート地での開催、...
 - ④ 中小規模雪イベントの実施
温泉街での雪灯籠イベント、...
 - ⑤ 新たな産業の展開
冷熱産業への応用、...
 - ⑥ 環境教育(学習)の推進
雪を教材として活用、...

山ノ内町役場
総務課企画財政係

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穩3352-1
TEL:0269-33-3111(内線352) FAX:0269-33-4527
E-Mail:kikaku-zaisei@town.yamanouchi.nagano.jp http://www.town.yamanouchi.nagano.jp/